

嵯峨天皇さまと孟宗竹

四月から五月にかけて、各地でタケノコの収穫が盛んとなります。この時期に採れるのは孟宗竹という種類のタケノコで、この竹は中国原産のもので日本には元々ありませんでした。

この孟宗竹が日本に入ってきた時期については、諸説ありますが、その一つに当宮の主祭神であらせられます嵯峨天皇さまの御代の弘仁年間に、乙訓郡現在の京都府長岡京市にあった海印寺の開祖、道雄僧都が、中国から渡来した孟宗竹を海印寺に伝えた事が始まりとされています。

当時食用としたかどうかは不明ですが、この海印寺で根付いたのであれば、自然とタケノコも出てきていたものと思われれます。その所以もあってか、現在も乙訓地域はタケノコの名産地として知られ、白子筍という最高級品も多く産出される事で有名です。

嵯峨天皇さまは、遣唐使によってもたらされた、お茶、雅楽、漢詩、唐風儀礼、筆法など数多くの新しい大陸文化を受け入れ、それを日本式に吸収されていったお方です。嵯峨天皇さまのこうした気風が、日本に孟宗竹をもたらした原動力の一つになったのかもしれない。

今や孟宗竹の竹林は日本の風景となつていますが、その新芽である春の味覚タケノコをお召し上がりの時には、こうした平安の先人たちの進取果敢の思いがあった事を忘れないでいたいです。

御旅社 ど根性 菜の花について

先月末、茶屋町の当宮御旅社の西北角の舗装の割れ目から、黄色い菜の花が顔をみせました。どうやら昨年のごぼれ種が花を咲かせたようです。都心部という過酷な環境の中、けなげに頑張って咲いている花姿を見ると、このコロナ禍の中勇氣づけられたという方も多いようですので、暫くこのままで見守りたいと思います。

ウメ輪紋ウイルス防除のお願い

アブラムシが媒介するウメ輪紋ウイルスが年々その被害規模を拡大しております。感染すると梅は伐採しなくてはならず、このままでは春に梅を見る事が出来なくなるかもしれません。梅の木をお育ての方は、アブラムシがつかないように、消毒殺虫の防除活動に何卒ご協力下さい。

御本社 境内樹木の剪定について

神山町の当宮御本社のクスノキなどの境内樹木について、先月強剪定を行いました。切りすぎなどのご心配のお声も聞きますが、クスノキは大変樹勢の強い木ですので、今回程度の強剪定では特に問題はありません。

鎮守の杜の雰囲気損なわれるというお声も聞きますが、当宮の立地は都心部の為、樹木によって近隣へ何らかの被害が発生しますと、大変な事となってしまふ事から、残念ながら当宮としても剪定をせざるを得ないのが現状でございます。

また、今回強めの剪定を行いましたのは、ここの二年で近隣にマンシヨンが急増しました為、当宮境内への日照量が大変少なくなり、御神木である梅の木が樹勢が弱っている事から、梅の木に少しでも日照を与えたいという思いもございます。当宮におきましては梅田の梅の字の由来にもなっている梅の木を守る事が第一でございますれば、何卒、皆様のご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

御旅社 授与所受付状況について

茶屋町の当宮御旅社の授与所では、今月は通常通りのお受付の予定です(土日十三時〜十七時は授与所の方、常時お受付致します)。ただしコロナ禍悪化の場合、授与所休止する場合もございます。その節には悪しからずご容赦下さいませ。

今月の暦

【祭礼】 神武祭(三日)：神武天皇崩御の日 神事のみ
明祭(廿日)：道真公の冤罪が晴れた日 神事のみ

【節気】 清明(四日)：気候明るく清々しい頃
穀雨(廿日)：田畑の準備が整い春雨降る頃

【雑節】 春の上旬(四月十七日〜五月四日) 土揺りは遠慮

【大安】 四月三日、九日、十四日、廿日、廿六日

【朔望】 下弦(四日)、朔月(十二日)、上弦(廿日)、満月(廿七日)

【祝日】 昭和の日(廿九日)

【旬】 「野菜」 タケノコ、そら豆、山菜類、アスパラガス、甘藷
「果物」 イチゴ、甘夏、ビワ(ハウス栽培)

【魚介類】 鯛(桜鯛)、サヨリ、シラス、ハマグリ(地蛤)、赤貝
【その他】 桜の花、牡丹、百合、花水木、桐の花

【雑感】 先月、緊急事態宣言が解除されてから、一気に人通りが戻りました。自粛疲れもあるかと思えます。ですが変異株が次第に増えている現状、今暫くは我慢が必要なのではと思うところですね。

網敷天神社 SNS、地図サイト

Twitter



Facebook



当宮地図 Google MAP



編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)
白江 秀 知

